



京浜臨海部ライフイノベーション 国際戦略総合特区

第1回 アジアヘッドクォーター特区と京浜臨海部ライフイノベーション
国際戦略総合特区の連携に関する検討会

平成24年8月8日

川崎市

京浜特区の強み

都市・交通基盤の充実

- 羽田空港至近
- 首都圏中心部の交通ネットワークの要に位置
- 東京国際エアカーゴターミナル（温湿度管理の医薬品専用倉庫）
- 京浜港

産業の高度化・高付加価値化の先駆者

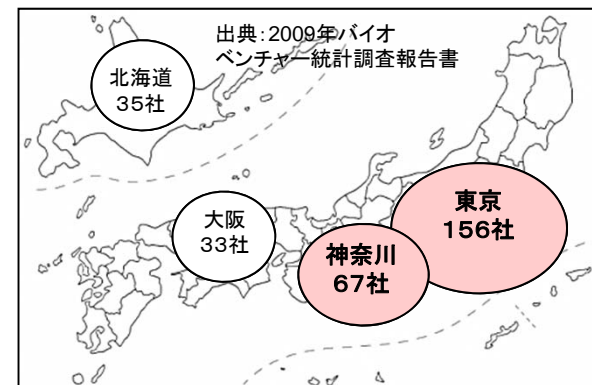
- 常に技術革新による産業の高度化、高付加価値化を実現
- 高度なものづくり技術をライフイノベーション分野で活用

人材・情報・技術の集積

- 実験動物中央研究所、理化学研究所横浜研究所、横浜市大医学部等
- 最先端の人材・情報・技術が、我が国で最も集積するエリア
- 首都圏3,700万人の膨大な人口、高度医療に対するニーズの存在

我が国随一の産業の集積

- 武田薬品工業、味の素、日油、富士通、NEC、キヤノン、東芝、テルモ、富士フイルム等のグローバル企業が立地
- ベンチャー企業の集積

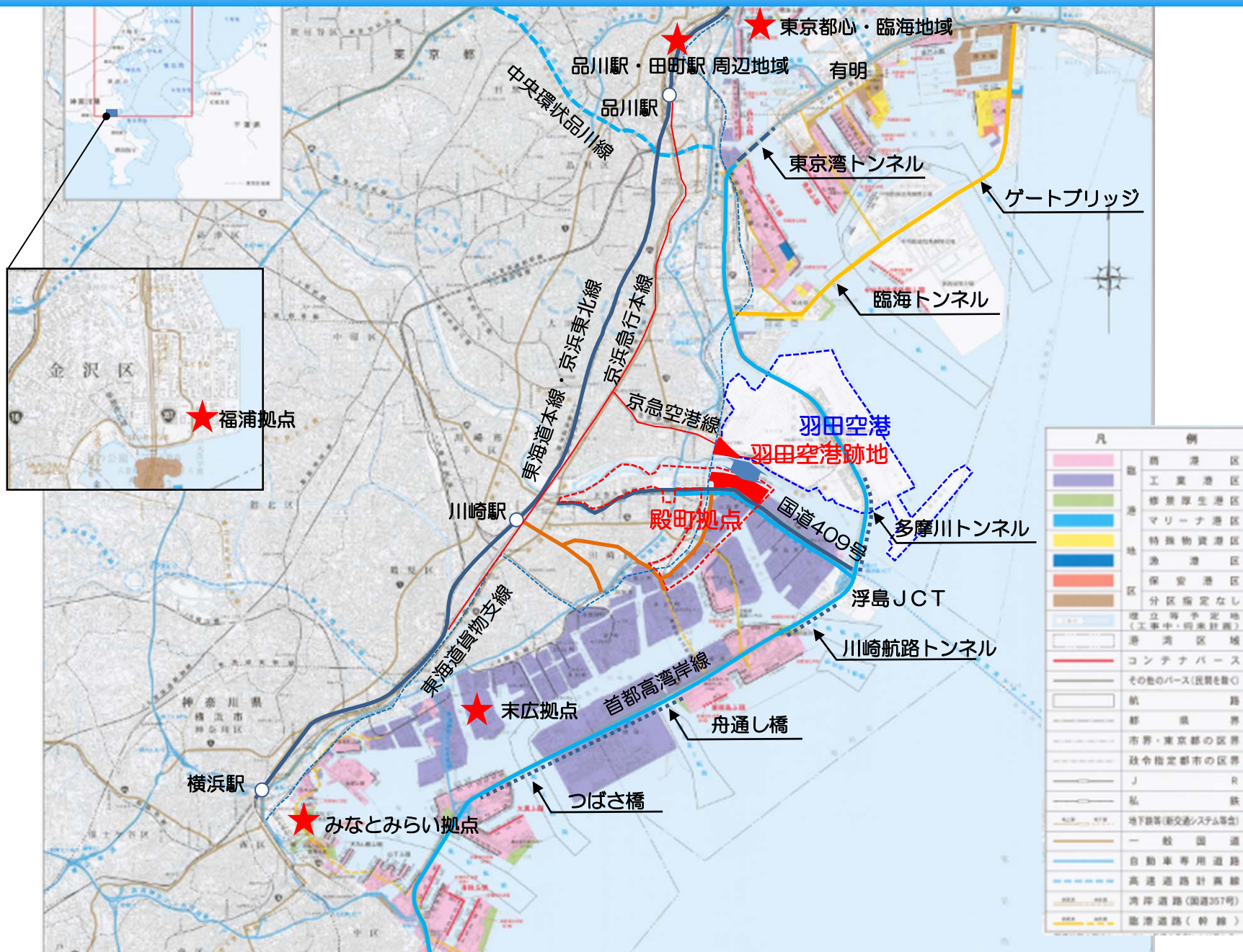


首都圏に集積するバイオベンチャー



産業・技術などの集積と京浜臨海部の強みを活かしたライフイノベーションの推進 1

羽田空港を中心としたエリアマップ



京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区の全体概要

実現を図る目標

個別化・予防医療時代に対応したグローバル企業による革新的医薬品・医療機器の開発・製造と健康関連産業の創出

- ① 再生医療 ② がん・生活習慣病 ③ 公衆衛生・予防医学

京浜臨海部で取組む3本の柱（3分野）

目標を達成するための3つの政策課題と解決策

政策課題	解決策	目標達成のための事業
<p><政策課題1> 個別化・予防医療を実現するための健康情報等のデータベース構築</p>	<p><解決策1> 健診データを活用した検体バンク・検体情報ネットワークの整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○アミノインデックス技術を活用したテーラーメイド医療への応用（がん・メタボリックシンドローム診断） ○健診情報等のデータベース事業 ○検体情報ネットワーク事業
<p><政策課題2> 国際共同治験の推進によるドラッグラグ・デバイスラグの解消と国内製品のアジア市場への展開</p>	<p><解決策2> 革新的な医薬品・医療機器の新たな評価・解析手法の確立と国際共同治験の迅速化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○国立医薬品食品衛生研究所の整備とレギュトリーサイエンスの推進 ○治験ネットワークの構築（国際共同治験） ○薬事承認審査事前相談機能
<p><政策課題3> 大学等の優れた要素技術の産業化と既存産業の医療・健康分野への展開</p>	<p><解決策3> ニーズ主導のマッチングによるベンチャー企業等の創出・産業化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○医工連携の推進（県、横浜、川崎、大田区などの連携による医療機器等の創出） ○企業ニーズと、大学や研究機関が有するシーズのマッチングを図るコーディネート

羽田空港周辺の特性・取組

羽田物流ターミナル
 (ヤマトホールディングス㈱)
 ・アジア全域の一貫物流を実現させる次世代型物流ソリューション・ターミナル

② (仮称) 産学公民連携研究センター
 H24.12 完成予定

- [3F]環境総合研究所
 - ・環境分野における国際貢献と地域の活性化
- [2F]健康安全研究所
 - ・感染症対策、食の安全・安心、環境衛生対策、医薬品対策等の強化
- [4F]レンタルラボ
 - ・研究開発施設、企業・大学等向け入居施設
- [1F]共用施設
 - ・国際ビジネス交流支援施設等

① 実中研 再生医療・新薬開発センター
 H23.7 供用開始

- ・特区プロジェクトと連携した、再生医療の実現や革新的新薬の研究開発等の取組により人々の健康に貢献

③ 国立医薬品食品衛生研究所
 H28年度 完成予定

- ・革新的な医薬品・医療機器の新たな評価・解析手法 (レギュラトリーサイエンス) の確立と国際共同治験の迅速化

賑わい・交流機能

- ・商業、業務、レクリエーション交流機能
- ・ホテル、コンベンション機能

ライフサイエンス・環境研究開発機能

- ・大学等の研究機関、製薬企業
- ・健康、福祉、医療等の関連企業の研究所、オフィス

臨空関連・業務・研究開発機能

- ・臨空関連産業、産業支援、業務機能等

臨空関連・産業支援機能

- ・臨空関連機能、物流機能、産業支援機能等

物流機能

- ・ヨドバシカメラアッセンブリーセンター

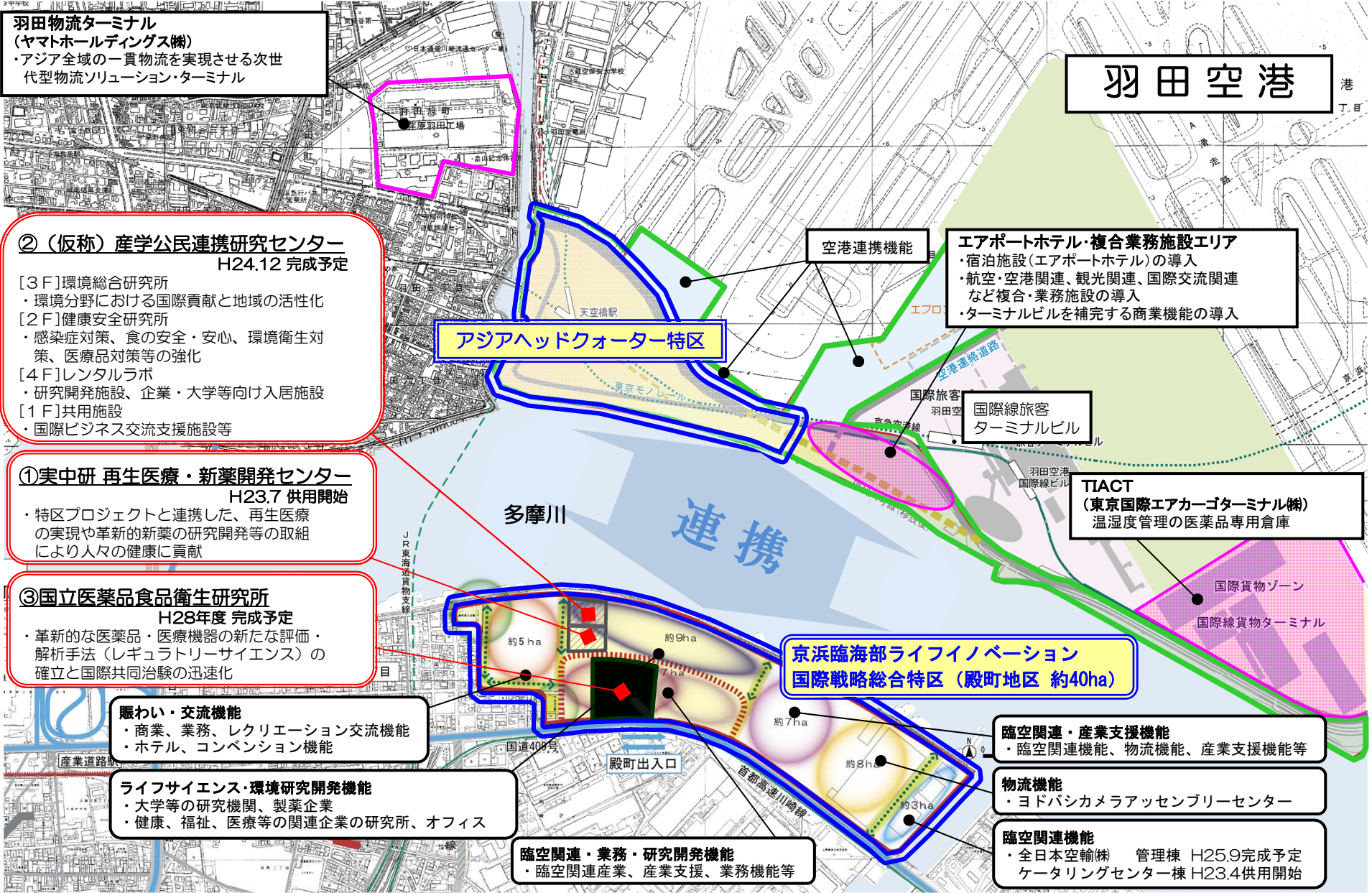
臨空関連機能

- ・全日本空輸㈱ 管理棟 H25.9完成予定
- ・ケータリングセンター棟 H23.4供用開始

羽田空港

アジアヘッドクォーター特区

**京浜臨海部ライフイノベーション
 国際戦略総合特区 (殿町地区 約40ha)**



特区间連携に対する考え方

- 羽田空港を中心に特区间で、相互の機能を役割分担し、土地利用やインフラなどについて整合を図り、都県境を越えて相乗効果を図る一体的なまちづくりを進め、首都圏の国際競争力を強化する。
- 研究開発機能の集積が進む『京浜特区（殿町地区）』と、情報発信・交流機能（コンベンションなど）施設を計画している『アジアヘッドクォーター特区（羽田空港跡地）』との役割分担と機能連携
- 海外から『殿町地区』に来訪する研究者等の利便施設として、『羽田空港跡地』に宿泊施設などを立地することによる連携の強化
- 羽田空港に隣接する東京国際エアカーゴターミナル（TIACT）の医薬品専用スペース「メディカルゲートウェイ」などを活用した国内外の治験ネットワークの構築
- 『京浜特区』に立地する研究開発機関やライフイノベーション企業と大田区のモノづくり技術などを活かした医工連携プロジェクトの推進
- 特区间の連携強化による外資を含めた戦略的な企業誘致の推進